

アンケート調査の概要について

(1) 調査の目的

本調査は、人口減少、少子高齢化、経済不況に伴う格差の拡大、デジタル化の進展など、社会に様々な変化や課題が生じている中で、揖斐川町の教育に対する住民の皆さまの考え方や意見を把握し、これからの学校教育の在り方を検討するための基礎資料とすることを目的として実施します。

(2) 調査方法等

区分	一般住民調査	小中学校調査
調査対象者	令和7年11月1日時点 町内在住の15歳以上の方 (中学生を除く)	令和7年11月1日時点で 町立小中学校及び組合立養基小学校 に通う小学4年生～中学3年生及び 勤務する教職員
抽出方法・件数	抽出(2,000人)	全数調査 小学生：441人 中学生：416人 教職員：278人
配布・回収方法	郵送配布・ 郵送回収またはWeb回答	学校配布・学校回収
調査期間	2週間程度	

(3) 調査スケジュール（予定）

- 10月9日（木） 第2回審議会の開催
- 10月第2～4週 調査票の修正・印刷
- 11月第1～2週 調査の実施
- 11月第3～4週 調査票の入力・集計
- 12～1月 調査結果の分析
- 2月 第4回審議会の開催（調査結果の報告）

(4) 調査票の設計

ページ数：A4判、一般住民調査8頁、小中学校調査4頁

設問内容：

設問	一般住民	小中学生	教職員
◇回答者の属性について			
・年齢	●		
・学年		●	
・居住する小学校区	●		
・通っている学校		●	
・勤務している学校			●
・居住年数	●		
・同居家族の中に子ども（幼・小・中・高）がいるか	●		
・きょうだいはいるか		●	
・職業	●		
・現在の生活の満足度	●		
・学校は楽しいか		●	
・学校で楽しいと思うこと		●	
・学校で楽しくないと思うこと		●	
・学校で困っていること		●	
・仕事にやりがいを感じるか			●
◇子ども達の教育環境について			
・自分が学校に通っていた時と比較した子ども達の教育環境	●		●
・子ども達のために必要だと考える教育環境	●		●
・学校生活の中で特に大事だと思うこと		●	
・子ども達に学校教育を通じて育んでほしい能力	●		●
・これからどんな学校になってほしいか		●	
◇学校の規模について			
・居住している地区の小中学校の児童数・生徒数について感じること	●		
・通っている学校の児童数・生徒数について感じること		●	
・勤務している学校の児童数・生徒数について感じること			●
・1クラスあたりの望ましい児童数・生徒数	●	●	●
・「1クラスあたりの望ましい児童数・生徒数」の回答理由	●	●	●
・1学年あたりの望ましいクラス数	●	●	●
・「1学年あたりの望ましいクラス数」の回答理由	●	●	●
・他の自治体で小中学校の統廃合が進められていることについて感じること	●	●	●
・「他の自治体で小中学校の統廃合が進められていることについて感じること」で、統廃合を考えた方がよいと答えた理由	●		●
・「他の自治体で小中学校の統廃合が進められていることについて感じること」で、慎重に検討した方がよいと答えた理由	●		●
◇その他			
・地域における「学校」とはどういった場所か	●		
・揖斐川町の小中学校の環境や学校教育のあり方などについて（自由記述）	●	●	●

※一般住民調査については、設問とは別に、現在の学校別の児童数・生徒数、学年ごとのクラス数といった回答する上での基礎となる情報を掲載する。